

# 年少組

2025/5月下旬～

すくわく号

カブトムシのお家作り

テーマ  
新しい命  
(自然)

テーマ設定理由（子どもの姿）

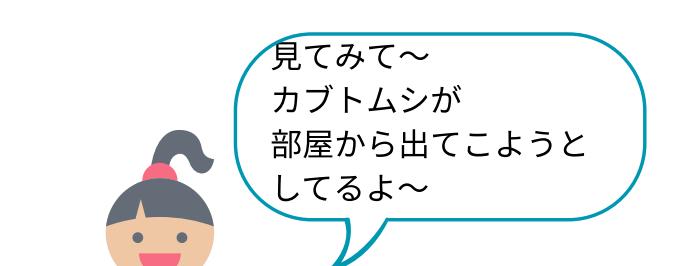
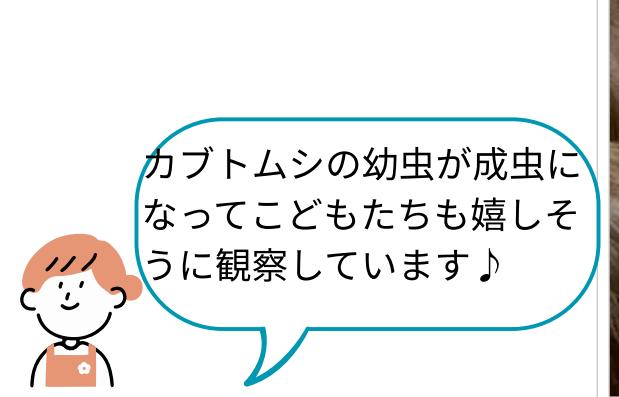
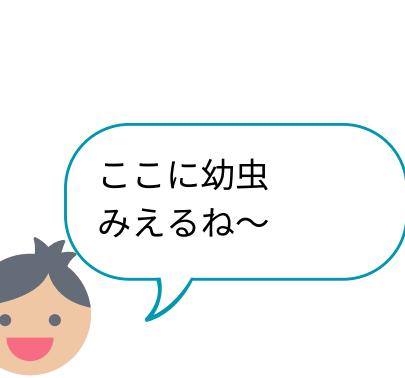
- 「たまご」や「幼虫」の様子をきにかける姿がある
- 幼虫が大きくなつたことを知り、よく見てみようとしたり図鑑と見比べてみようとする姿がある
- カブトムシの姿をよく見てみようとしている

カブトムシがてきた！

探求活動の実践

＜活動の内容＞

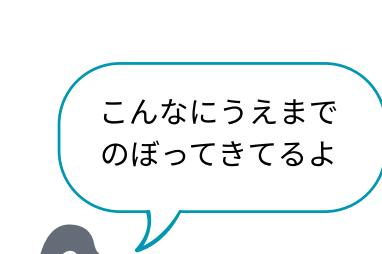
- ・全員がみやすいように廊下にも生き物コーナーを設置し、クラスでもこどもたちがみやすい高さの位置に虫かごを置いた
- ・子どもたちと一緒にカブトムシの部屋作りを行い、部屋の中にはどんなものがあったら嬉しいのかを話した



探求活動の実践

＜活動の内容＞

- ・カブトムシが成虫になっていることに気がついたので、飼育ケースごとに分けて室内にカブトムシコーナーを設定
- ・廊下にもコーナーを設置し、ライトを活用しながら子どもたちが自分でよく見れる工夫をしてみた



活動を通して

振り返り

- 持っている図鑑と見比べたり、保育者など知っている人に話を聞いたりしながら「なんだろう？」を「そうなんだ！」へと変えてみようとする姿が増えてきた。
- 姿が明らかになってくる（成虫になる）ことで、更に興味が広がってきた。
- 様子が見やすくなる工夫で、生きる姿がより見て分かりやすくなった。
- 各部屋にコーナーを作ることでより身近な存在となり、お世話をしようしたり、ちょっとでも触れてみよう挑戦してみる子の姿もみられた。
- 廊下にいるカブトムシは沢山動いているのに、お部屋のカブトムシはすぐに土の中に入ってしまうことへの疑問の声が聞かれた。

# 年少組

2025/7月中旬～

10月1日配信

この白いのなあに？

すくわく号

テーマ  
新しい命  
(自然)

テーマ設定理由 (子どもの姿)

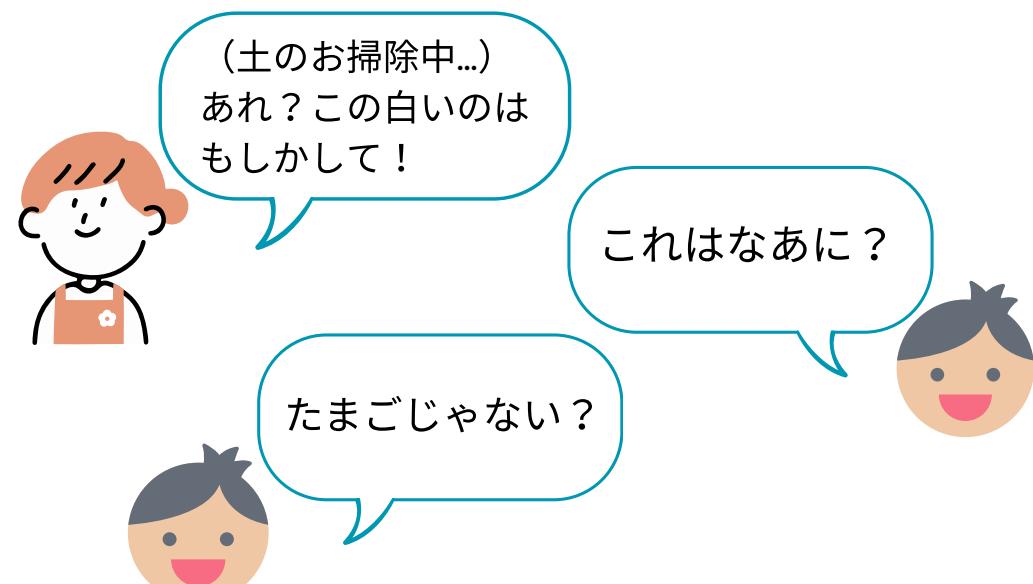
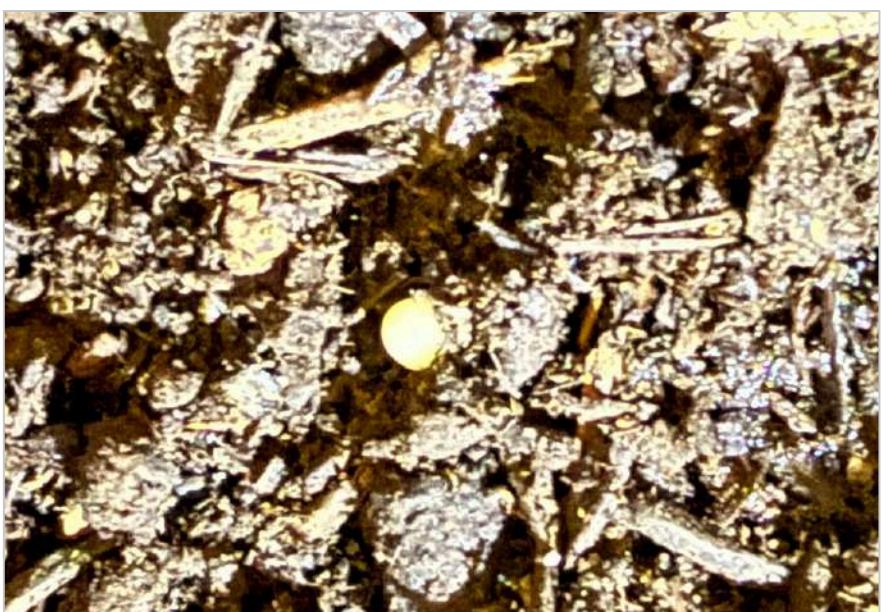
- カブトムシが沢山成虫になり、保育室にも飼育コーナーが常設されるようになったことで、お世話をしたり様子を気にかけたりする姿が多くなってきた。
- 土の匂いの変化に気付く声が聞かれるようになってきた

この白いのなあに？

探求活動の実践

＜活動の内容＞

- ・ゼリーをあげたり、土を湿らせたりとお世話をすることがしやすいように飼育カゴコーナーを設置
- ・発見した白いもの（たまご）を別の容器に入れてみる



探求活動の実践

＜活動の内容＞

- 新たに生まれてきたカブトムシの幼虫がどんな風に大きくなっていくのかを観察する
- 生まれた幼虫の数が多いのでお部屋が小さいお部屋だと狭いと分かり、クラスで相談した



活動を通して

振り返り

- お世話をすることが、日課のように根付きつつあったことで、変化する「違い」に気付く声が増えてきた。
- たまごだけを別の容器に移して観察することができるようにしたことで、生まれたての幼虫の時から観察をしやすくなった。
- たまごが生まれたことと同時に、死んでしまう成虫の姿もあり、「生きる」と「死ぬ」が同時期に起こる期間となった。死んでしまった成虫を埋めてあげたり、生まれた幼虫をどうしたらよいか考えたりと子どもたちは2つの経験をする期間になったのではないか。